

そよげ風

山口市立小郡小学校
No.20 学校だより
平成23年6月2日

延期した運動会に小郡小パワーをみる

校長 上田 保明

30日に春の運動会を実施しました。異常気象ともいえる梅雨前線の北上、加えて台風2号の接近で、やむなく運動会を2日にわたって延期しました。各ご家庭におかれましてはお弁当の準備、休日の計画等、気をもませました。

ところが嬉しいことばかりの運動会となりました。夜半まで風雨があったので前日準備はできず、テントは骨組みだけ組み立てた状態。運動場は所々水たまりがありぬかるんでいました。職員は早朝から自主出勤し準備をしておりましたところ、地区テントの設営でいらっしゃっていた方やPTAの役員、“おやじの会”の方々が水抜き・テント張り等を積極的に手伝ってくださって、定刻に開始することができました。皆さんの協力に感謝（運営に当たっては、体育部を中心とするPTA役員の陰の力にも感謝）。

最高に嬉しかったのは主役である子供たちの活躍です。5・6年生の係活動の積極性、すばらしい演技の数々。中でも1年生の成長は目を見張るばかりでした。入学してまだ2ヶ月経過していないのに、カーブを上手に走る徒競走、2年生の好リードもあって立派なダンス。3・4年生は躍動感あふれる“エイサー”。5・6年生は定番となっている組体操。今年はアイデア豊富で、7段ピラミットは勇壮でした。6年生が保護者と走る“いっしょに走ろう”は和やかでした。応援合戦はそれぞれ工夫され、声がよく出ていました。騎馬戦はこれまた闘志むき出しで迫力がありました。色別対抗リレー、これにも感動しました。期待を背に走る姿はすばらしい。大きく差が開いてもゴール目指して一心に走る姿に感動。子供たちが大活躍の感動感動の運動会でした。

私が言うのもおこがましいのですが、その陰には我々教職員の姿があることも実感させられた運動会でした。企画のみならず当日の機敏な動き、組体操や騎馬戦では安全に配慮した動きや子供と共に楽しむ教職員の姿もあり私の喜びを増しました。

まだまだ嬉しいことは続きます。今年も後片付けを“おやじの会”のお手伝いをいただき、短時間で通常の学習環境が整いました。これまた感謝です。

子供たちが主役で大活躍の運動会を振り返ると、小郡小学校の一員である保護者・地域の方々・教職員がおのおのの部署で子供たちのために一生懸命に関わる姿はそのまま子供たちに伝わるのだと改めて思い知りました。まさに“チーム小郡小”。

ところで、一つだけ残念なことがありました。運動会の翌朝、運動場のゴミ拾いの当番の子供が、ビールの空き缶一つ、タバコの吸い殻数本を拾って来ました。本校敷地内は“禁酒・禁煙”です。ルールを守らない大人の姿も子供たちはしっかりと見ています。今後も、小郡小学校の子供たちのために“チーム小郡小”の自覚を持って、それぞれのお力添えをよろしく願います。

～5月を振り返って～

暑くなったり、寒くなったり、そして、雨が続いたり、体調管理の難しい5月でした。梅雨入り宣言された中、子供たちは力いっぱい運動会の練習に取り組み、充実した5月を過ごすことができました。おやじの会による環境美化作業から運動会に至るまでの様子を写真をとおして紹介します。



環境美化作業

「おやじの会」による環境美化作業が5月8日（日）に行われました。10時から11時半までという限られた時間でしたが、正門モニュメントと遊具へのペンキ塗り、校舎周辺部の草刈りにより、見違えるほどきれいになりました。

おやじのパワーに脱帽！！



1年生「中領八幡宮の見学」

前日までの雨のため、コースを変えて遠足を実施しました。中領八幡宮で、植物を見たり、虫を探したりして楽しく過ごしました。学校に戻って弁当とおやつを食べ、遠足の気分を味わいました。



3年生 遠足「其中庵見学」

栄山公園を通過して其中庵を見学しました。其中庵では、種田山頭火について学習し、文学の世界に浸ることができました。

全力疾走と真剣な演技。感動をありがとう。5・30運動会



3・4年表現「エイサー ～沖縄の風～」
沖縄から全国に広がった子供エイサーです。
小郡小学校の子供たちに合った踊りに少し変えま
した。腰の入った演技と鮮やかな色の組み合わせ
が絶妙でした。



1・2年表現「おんなじ キモチ」
ピンク・黄・赤色の帽子と手袋
を身に付け子供たちにとってもお気
に入りの踊りでした。
かわいい動きが観衆を魅了しました。



5・6年表現「リバイバルーOne for allー」
高学年のまとまりとやる気を見せてくれた
は大きく回る素晴らしい演技でした。



3・4年団体競技「心と力を合わせて」
内側の方は小さく、外側の人
という工夫の必要な競技でした。



1・2年団体競技「大玉ごろりん」
予想に反して、大玉はとんでもない
方向に。力を合わせて一生懸命に大玉を
ました。



5・6年団体競技「榎野川の乱」(騎馬戦)
団体戦と一騎打ち。
いずれも好勝負の手に汗握る連続。転がし
激戦をありがとう。

7月の行事予定

		行 事 等	日	曜	行 事 等
日	曜				
4	月	クラブ活動	19	火	学期末個人懇談
5	火	全校朝会	20	水	終業式 全校地区別下校
7	木	集金日（給食・学年）	23	土	山口市健康教室
15	金	学期末個人懇談	24	日	山口市健康教室
18	月	海の日	31	日	全日本吹奏楽コンクール

◆ あいさつのできる子供に



山手の交差点に朝、立っていますと、子どもたちの様子がよく分かります。元気のよいあいさつのできる子、下向き加減にちょっと元気がない子、名札のない子、大きな荷物をもって張り切っている子などなど。子供たちは、いろいろな思いをもって登校して来ます。

左の写真は、学校ランチルーム前に掲示してある写真です。PTAの方でも生活教養部を中心として年4回のあいさつ運動を展開されるとお聞きしています。学校としても、「相手より先に、いつでも、さわやかに、あいさつを続けられる」子供を育成したいと考えています。

ご家庭・地域の中でも、「ちょっと一言」あいさつの必要性等についてご指導いただくとありがたいと思っています。あいさつは、世代を超えて人間関係を円滑にする潤滑油ですから。

◆ <学校での取り組み>

学校では研究授業をとおして授業力の向上に努めています

研究授業とは、多数の教員に公開する授業のことです。授業を公開する際には、学習指導案を授業者は準備します。学習指導案とは、教師が授業をどのように進めていくかを記した「学習指導・学習支援の計画書」のことです。授業を提案する授業者は、この学習指導案を作成するためにその教科や内容について研究をします。この教材研究を積み重ねていくことによって、教員は授業について多くのことを学ぶことができ、それが授業力を向上させたり、教員としての資質・能力を高めていくことにつながっていくと考えています。

本校では、年間に必ず全員1回は、指導案を作ったの公開授業を行って“教え方”の技能向上に取り組んでいます。

さわやかな風 遠くを見れば新緑の野山 そして恵みの雨

校訓“温、強、活”の“強”の大切さ

梅雨が到来しました。はじめじめとした雨の多い時期になりましたが、田や畑の作物には、必要不可欠の水です。まさに、恵みの雨です。

天気は晴れと雨があるように、同様に子どもの心の中にも、「やさしさ」と「きびしさ」が必要です。子どもたちにとって、「やさしさ」だけでは、甘えが出たり、わがままが出たりします。また、「きびしさ」だけでは、気持ちがすさんだり、いらいらしたりして、心は健全に成長しないと言われます。

子供たちは日々の生活の中で、褒められたり、注意されたりします。よいことをした時には、やさしく褒められ、まちがったことに対しては厳しく注意される。そのような経験を重ねることによって少しずつ、社会の中における善悪のルールを覚え、社会の一員としての自覚をもった人へと成長していきます。家庭・地域・学校が手を取り合い、互いに連携し合う中で心豊かな子どもたちを育てていきたいものです。



(文責：教頭 水野 昭)